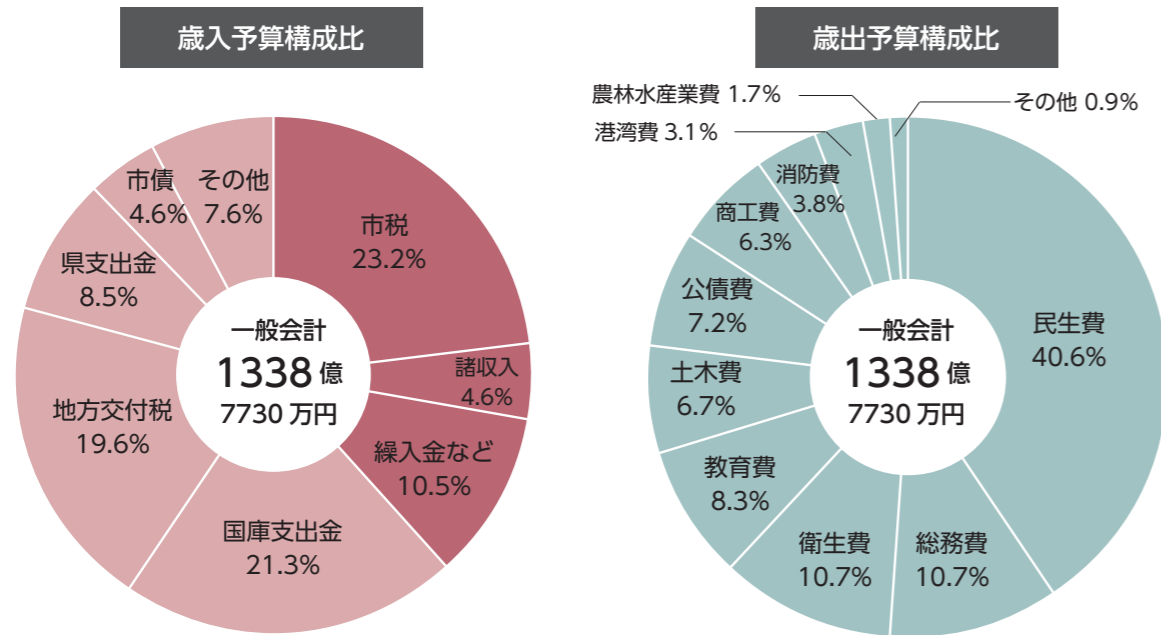


# 令和8年度一般会計当初予算

## 未来に踏み出すステップへ 明日への扉を拓く予算

### シティブランディング・プロジェクトの主な取り組み



■ = 自主財源 (自主的に収入できる財源) 38.3%  
 ■ = 依存財源 (国や県から交付される財源など) 61.6%  
 ※端数処理の関係で合計が100%ではありません。

本年度は、第7次総合計画(後期基本計画)の3年目に当たり、これまでの取り組みを踏まえ、その効果を最大限に高めていく重要な段階です。改革と改善を着実に進めながら、限られた行政資源を有効に活用し、経営感覚とコスト意識を持った市政運営を行っていきます。

令和8年度一般会計当初予算は、次の6つの基本方針を定め予算編成に取り組みました。

- 1 「人口減少」という政策課題を解決するため、シティブランディング・プロジェクトを展開する
- 2 県や市役所内の連携を強化し、相乗効果を生み出すこと

- で「効果の最大化」につなげる
- 3 官民共創によるオール佐世保の視点で、積極的に新たな取り組みを取り入れる
  - 4 客観的根拠に基づく政策立案に努め、適宜適切に説明責任を果たすことにより市民の理解を促進する
  - 5 賃金・物価・金利が上昇する中、市民目線、市民の立場に立った施策を展開する
  - 6 行財政改革(歳入・歳出両面からの収支改善策)を遂行し、財政の健全性を堅持する

### シティブランディング・プロジェクト

本市の最重要課題である人口減少対策に対応する取り組みが「シティブランディング・プロジェクト」です。プロジェクトを構成する4つの柱を紹介します。

<p><b>子育て</b></p> <p>まちづくりは人づくりであり、子育て支援の充実、まちの魅力を作り出すという考えの元、切れ目のない支援を通じて、「子育て世代にやさしいまち」を目指します。</p>	<p><b>産業</b></p> <p>地域(local)に根差した産業を磨き上げ、世界(global)に通じた「グローバル産業のまち」や、地域経済の活性化による市民所得の向上などを目指します。</p>
<p><b>地域資源</b></p> <p>九十九島の美しい景色や豊かな食材など、ここにしかない佐世保ならではの多彩な地域資源を基盤とした「オンリーワンのまち」の価値を創ります。</p>	<p><b>文化</b></p> <p>若者コミュニティの構築や佐世保らしいスポーツ、多様な文化活動などによるまちのにぎわいづくりと、その魅力を広めることで、シビックプライドの醸成を図ります。</p>

### 子育て

**学校給食費の無償化**  
11億3539万円

令和6年度から取り組んでいる中学校給食費の無償化と学校給食費相当額の助成を中学校全学年へ拡大します。また、国の交付金を活用して、小学校給食費の無償化や学校給食費相当額を助成します。

**第2子以降の保育料無償化**  
2億6109万円

第2子以降(1、2歳児)の保育料と第2子以降の副食費の無償化を行います。

**高校生等世代の福祉医療費**  
1億1222万円

高校生等世代の人が病院や薬局にかかった際の医療費を、現物給付方式で助成します。

**不妊に悩む方への特定治療支援**  
927万円

特定不妊治療における先進医療の費用や、市外・県外の医療機関へ通院するための交通費の一部を助成します。

### 産業

**長崎国際大学理工系学部設置支援**  
3億1590万円

産学官連携を通じた理工系人材の地元定着による、人口減少対策および地域経済の活性化に向けた取り組みとして、令和9年4月に予定されている長崎国際大学理工系学部の新設に伴う費用の一部を助成します。

※本市は、令和8年度から10年度までの間、10億円を支援します。なお理工系学部設置費用の総額は約30億円と計画されています。



長崎国際大学理工系学部の設置支援について寄せられる質問にお答えします。

**質問** なぜ、長崎国際大学を支援するのか？

**回答** 以下の視点から理工系学部設置を支援します。

- 1 県北地域には進学を選択肢が少なく高校生が卒業後に流出しています。この地域に初の4年制大学の理工系学部が設置されることで、地元で学ぶ選択肢を増やし、若者の流出抑制につなげます。
- 2 地元企業における大卒者の採用が難しい状況の中で、人材確保が課題となっています。特にニーズが高い「デジタル人材」の育成と確保につなげます。
- 3 長崎国際大学は、約2,000人が学んでおり開学から25年間「知の拠点」として地域に貢献してきました。このような「知の拠点」としての大学の将来にわたる存続につなげます。

**質問** 市の他の事業に影響はないのか？

**回答** 今回の支援は、ふるさと納税による寄付を積み立てた「ふるさと元気基金」を活用することで、他の市民サービスの財源に影響が出ないよう配慮して進めていきます。

**質問** 物価高騰対策が優先ではないのか？

**回答** 本紙5ページに掲載しているとおり、段階的に取り組みを進めています。大学への支援は、本市の将来に向けた投資と考えており、卒業生が本市に就職することで、地元企業の成長につながることを期待されます。なお、約20年間で今回の支援額である10億円相当の税収効果などを見込んでいます。

## 地域資源

### 食の拠点整備支援

2400万円

官民連携による食の拠点をまちなかへ整備し、創業希望者、若手料理人が新メニュー開発やイベントを行い、地域食材の付加価値向上、ブランド化を進め、食を目的とする観光誘客を図ります。

### させば立神近代化歴史公園

9155万円



※画像はイメージです。

日本遺産「鎮守府」の周遊の起点として、11月に供用開始を予定しています。同公園を核として、市内に点在する近代化遺産をつなぎ、「鎮守府」のさらなる魅力向上と誘客促進を図ります。

### ハウステンボスと連携した誘客・周遊促進

3102万円

ハウステンボスと西九州させば広域都市圏12市町の連携協定を機に、食や自然など地域の魅力を活用した事業を展開することで、ハウステンボスから市内や周辺市町への周遊を促進し、滞在時間の延長と消費拡大を図ります。

### 高島宿泊施設

1500万円



高島活性化コンベンション協会 ESPO が実施する宿泊施設整備の経費を一部支援し、地域資源を生かした持続可能な地域づくりと、滞在型観光の充実を図ります。

## 文化

### 若者活躍支援経費

1814万円

若者活躍プロジェクト活動費補助金の運用や若者活躍イベントなどを実施する他、「一般社団法人 Tsunagas (ツナガス)」を設立し次の世代を担う人材の創出を図ります。

### V・ファーレン長崎 シティプロモーション

1150万円



県内唯一のプロサッカークラブで、8年ぶりにJ1復帰を果たしたV・ファーレン長崎と連携し、本市の知名度向上やイメージアップを図るための情報発信を実施します。

### アーバンスポーツ施設整備

1億6802万円

令和9年4月オープンに向けて、佐世保公園にスケートボードエリアなどを中心とした「アーバンスポーツパーク(仮称)」の整備を進めます。

### ツール・ド・九州2026 佐世保クリテリウム

7674万円



令和7年度に引き続き、国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2026」のエキシビジョンレースである、「佐世保クリテリウム」を開催します。

## 第7次佐世保市総合計画 後期基本計画の主な取り組み

令和6年度からスタートした「第7次佐世保市総合計画 後期基本計画」の、令和8年度における主な取り組みを紹介します。

### 競輪 G1 レース開催など

361億8758万円

年間を通じて、佐世保競輪場でレースを開催し、収益の確保を図ります。なお、8月には、佐世保競輪場の新しいメインスタンド完成を記念して、GI女子オールスター競輪を開催します。

### 屋内運動場(体育館)への空調整備

2166万円(R7補正7億3364万円)

全ての小・中学校を対象に、児童生徒の最適な学習環境の確保と避難所の機能向上を目的として、屋内運動場(体育館)への空調整備を行います。今年度は11校で空調整備などを実施し、令和13年度の整備完了を目指します。

### 水産市場 魚類選別機の更新

111万円



漁業者の荷揚げ効率化を図るため、計量・魚箱供給を自動化した省人化機能を持つ「魚類自動選別機」の導入を進めています。今年度は実施設計を行い、令和9、10年度の更新を予定しています。

## 物価高騰対応経済対策

長引く物価高騰から市民の暮らしと地域経済を守り抜くため、本市では令和7年12月から、合計28事業、総額40億165万円に及ぶ総合的な経済対策をスタートさせています。今回の経済対策は、緊急支援から基盤安定、構造転換へ段階的に進める「重層的支援パッケージ」として実施しています。

ここでは令和8年度の取り組みのうち、「水道基本料金の支援」と「地域通貨発行事業」を紹介します。

### 水道基本料金などの支援

9億1516万円

使用水量が増加し、光熱水費の負担が重くなる夏場に合わせ、水道基本料金4カ月分を減免します。官公署などの公的機関を除き、水道局と給水契約を締結している全ての契約者が対象です。また、民営簡易水道の利用者に対しても同等の負担軽減を図ります。

### 地域通貨発行事業

4億9155万円



地域通貨「させばeコイン」を発行し、地域内経済循環と地域活性化を図るため、ポイント還元キャンペーンを実施する他、加盟店間決済機能を導入します。また、新規加盟店へのポイント還元も行うことで、「させばeコイン」の利用可能な店舗を増やし利便性を高めます。

## 宮島市長へのインタビューを動画でプラス



宮島市長に、令和8年度にける思いや当初予算、シティブランディング・プロジェクトの主な取り組みをインタビューしました。



YouTube「佐世保市チャンネル」  
広報させばプラス